

令和3年1月

第697号



みんなで守ろう
豊かな農村環境

水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



【諫早市 飯盛町】

謹んで新春のお慶びを申しあげます

長崎県土地改良事業団体連合会

会長 古川 隆三郎（島原市長）
副会長・専務理事 松尾 一郎
副会長 小川 隆友（田平土地改良区理事長）
理事 宮本 明雄（諫早市長）
理事 金澤 秀三郎（雲仙市長）
理事 松本 政博（南島原市長）
理事 白川 永利（芦辺土地改良区理事長）
理事 平山 学（諫早干拓土地改良区理事長）
理事 林田 俊秀（三会原土地改良区理事長）
代表監事 岡田 伊一郎（東彼杵町長）
監事 濱崎 保久（中央土地改良区理事長）
監事 平田 光昭（寺脇土地改良区理事長）



他職員一同



明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、会員並びに関係各位には、ご健在で新年を迎えることを心からお慶び申し上げます。

また、皆様には平素より本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、熊本県をはじめとする、令和2年7月豪雨災害では、全国各地で、農業、農地、農業用施設に甚大な被害をもたらしました。各被災地では、復旧作業が急ピッチで行われておりますが、今なお避難生活を余儀無くされている方々が多数おられます。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興が出来ますようご祈念いたします。

また、昨年から発生している、新型コロナウイルス感染症は、全国各地で感染拡大が広がり、収束の兆しが見えない状況にあります。本会においても感染防止の対策として、在宅勤務によるテレワークを導入しているところであります。

さて、本県の農業産出額は、農産物、畜産物の産地化・ブランド化により、近年は増加傾向で推移し、過去10年間では7.4%の増加となっています。基盤整備された農地では、担い手への農地集積に伴う経営規模の拡大、高収益作物の導入や施設園芸、露地野菜の作付け拡大により産地が強化され、農業所得額の増加に加え、若手後継者の増加に伴い地域の児童数が増加するなどの波及効果も表れています。

このような中、昨年11月には9回目となる「農業農村整備事業推進大会」を、知事、県選出国會議員、県議会議員、市町、土地改良区など約600名の参加を頂き開催しました。大会では、令和3年度農業農村整備事業概算要求の満額確保などが、満場の拍手をもって決議されました。

事業予算確保については、本会と、長崎県農

業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）を先頭に、県・関係団体及び土地改良区と一体となって、国・関係行政機関及び国会議員へ要請活動を行ってきました。

このような中、国の令和3年度農業農村整備事業関係予算は、令和2年度補正予算と合わせ、6,300億円の確保がなされました。

しかしながら、当初予算の占める割合は、約7割に留まっており、事業効果の早期発現のためには、生産基盤の整備を計画的に実施することが不可欠であります。

本会といたしましても、国や県の施策に適切に対応しながら、農業農村整備事業の効率的な推進のため更なる技術力向上に努めるとともに、土地改良区の体制強化に向け、統合合併や会計指導等に積極的に支援していく所存であります。

最後になりますが、会員の皆様のこの1年間のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。





長崎県知事
中村 法道

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、世界中で拡がりを見せた新型コロナウイルス感染症については、本県においても、3月に初めての感染者が確認されて以降、感染拡大防止等の対策に力を注いでまいりました。収束は未だ見通せない状況にありますが、感染症の予防・拡大防止対策を講じつつ、社会経済活動の回復・拡大に向けた対策を実施することが重要であると考えておりますので、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

さて、本県では、「まち」の佇まいが大きく変わろうとしています。

九州新幹線西九州ルートの長崎～武雄温泉間にについては、開業時期が「令和4年度秋頃」との見通しが示されました。県としては、これまで以上に市町や経済団体等と連携しながら、県民の気運醸成を図り、開業効果を最大限に高め、県内全域に波及させるための取組を進めてまいります。

この新幹線整備とあわせ、長崎駅周辺においては、鉄道在来線の高架化事業が昨年3月に完成するとともに、新しい長崎駅舎が開業しました。今後、交流拠点施設やホテルなどまちの賑わいを生み出す施設の整備も進むことから、公共交通機関の乗り継ぎの利便性向上にも取り組んでまいります。引き続き、新幹線開業後のまちづくりを見据えて、官民が連携してまちの魅力を高め、賑わい創出に繋がるよう努めてまいります。

さらに、県庁舎跡地の活用についても、歴史ある石垣なども活かしながら、県民市民や観光客をはじめ若い方々や企業、学生などが集い、本県に新たな活力をもたらすような交流・賑わいの場の整備を目指し検討を進めてまいります。

また、特定複合観光施設（IR）区域の整備については、IR事業者を夏頃までに選定し、事業者とともに、国に申請する区域整備計画を作成するなど、今年は非常に重要な1年となります。今後とも、九州各県や経済団体など関係皆様方と一緒に連携を図りながら、九州・長崎IRの実現に全力を注いでまいります。

佐世保港浦頭地区においては、官民連携による国際クルーズターミナルが昨年8月に完成いたしました。2バース化に取り組んでいる長崎港とあわせて、国や船会社、関係機関と連携しクルーズ船の受入環境を整備してまいります。

昨年も豪雨や台風による災害が発生しましたが、県民の皆様が安心・安全で快適に暮らしていただけるよう、激甚化・頻発化する災害に強く命を守る強靭な地域づくりも推し進めてまいります。

また、産業分野においては、海洋エネルギー関連産業やAI・IoT・ロボット関連産業、航空機関連産業などの新分野で新たな動きがあり、「産業構造」が大きく変わりつつあります。

海洋エネルギー関連産業においては、大幅な市場の拡大が期待されており、本県では、こうした需要を取り込むため、サプライチェーンの構築やアジア初の海洋エネルギーの専門人材育成機関として長崎海洋アカデミーを創設するなど、産学官連携で関連産業の育成に全力を注いでおります。

AI・IoT・ロボット関連産業については、昨年、長崎大学情報データ科学部が開設されるなど、情報系人材の教育環境が充実してきております。このような中、近年、日本を代表する情報サービス系企業の研究・開発拠点が相次ぎ立地しており、県としては、こうした誘致企業と地場情報系企業の連携を進め、情報産業の事業拡大を目指しているところであります。

また、航空機関連産業では、既に10社を超える中小企業が造船で培った高い金属加工技術を活かして、航空機産業に参入しているなか、昨年11月には三菱重工航空エンジンの長崎工場が誕生したところであり、県内企業の新たな取引へつながるよう、県内のサプライチェーンの構築・強化に努めながら、航空機産業の育成に力を注いでまいります。

さらに、半導体分野においても5G関連の需要拡大を受け、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの新工場が建設されており、1,000名規模の新たな雇用の場も誕生することになります。

加えて、昨年4月から、スタートアップ交流拠点CO-DEJIMAを拠点として、十八親和銀行、長崎市などと連携した「オープンイノベーション型新規ビジネス創出」に取り組んでおります。その結果、首都圏の企業にも参画をいただき、ビジネス化に向けた複数のプロジェクトが始まるとの成果も出ております。

このように、まちや産業が大きく変わり、100年に一度とも言うべき大きな変革の時期を迎えており、本年は県政150周年の記念すべき年にも当たります。県としては、今春から新たな総合計画をスタートさせ、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響など様々な課題に対応するとともに、新幹線の開業効果拡大、次なる基幹産業の創出など、県民の皆様と想いを一つにして、チャンスを地域の活性化につなげる施策に取り組み、力強い長崎県づくりにチャレンジしてまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



新年にあたって

全国水土里ネット
会長 二階 俊博

令和三年の年頭に当たり、土地改良に携わる全
国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染
拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求
められる等、これまで経験したことのない一年とな
りました。

また、七月の豪雨や台風による暴風雨により、
全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりにな
られた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますと
ともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞
い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復してい
くためには、被害を受けた農地や農業用施設の復
旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良
に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の
先頭に立っていただいていることについて、心から
敬意を表します。

全国で三十二カ所のため池が決壊した「平成三十
年七月豪雨」を契機として、全国のため池の関
係者の方々から、ため池の防災工事を推進するた
めの財政的・技術的な支援を求める声が高まり、
昨年六月、ため池に関する特別措置法が議員立法
として成立致しました。この議員立法の成立には、
多くの国會議員の皆様の御尽力を頂きましたが、
中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、
法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。
土地改良関係者が一丸となって、全力で対応
した結果であったと思います。心から厚く御礼を申
し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う
土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸
となって闘った結果、補正予算などを含めまして、
大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが
出来ました。

令和三年度予算につきましては、農業農村整備
の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある
要請活動により、政府予算案においては、四四四
五億円を確保することができました。さらに、令和
二年度の補正予算を含めると六三〇〇億円となり
ます。また、防災・減災の為の国土強靭化対策が
延長され、新たな五ヶ年加速化対策として、十五

兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心
から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、
担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題
が山積しております。また、コメなどを巡る先行き
不安から、状況が一段と厳しくなっております。一
方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行してお
り、食料生産の増大、非食料用米への転換に支
障を来すばかりなく、国民の生命や財産にも多
大な損害をもたらすのではないかと危惧されており
ます。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する
傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被
害が続いているいます。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年
三月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣
議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農
業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給
や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農
村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体
で農業、農村を次の世代につないでいくこととさ
れました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政
府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術
と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を
活動の基本におきつつ積極的に貢献していくこと
が重要であると考えており、加えて、水土里ネット
が農業農村を守り、発展させていくことの重要性
について広く国民の皆様にアピールし、共感を得
ていく努力が必要と考えます。皆様と一緒に取り組
み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに
当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展
しますようご期待申し上げますとともに、新型コロ
ナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様
にとってよき年であり、日々健やかに過ごされます
ようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶と
いたします。



新年明けましておめでとうございます。長崎県の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかつたと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靭化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靭化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算

の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟(二階俊博会長)として「農業農村の振興を先導する土地改良」(全国事例集)の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

長崎県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。





明けましておめでとうございます。長崎県の土地改良関係の皆さんに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただきしておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウィルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さま方ご关心の、防災・減災、国土強靭化対策については、現行の3カ年緊急対策に続き令和7年度までの5カ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靭化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら、総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靭化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続

き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せて生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、長崎県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶いたします。

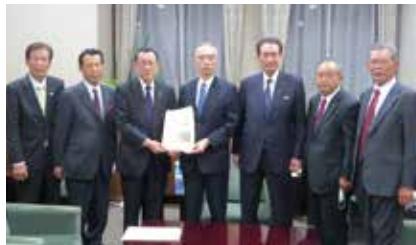


令和3年度農業農村整備事業予算編成等に対する要請活動

長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）及び長崎県土地改良事業団体連合会（会長：古川隆三郎島原市長）、土地改良区、自民党長崎県支部連合会は11月24日に、宮内秀樹農林水産副大臣はじめ、農林水産省、財務省、二階俊博自民党幹事長、県選出国会議員等に対し、本県への重点配分などの要請を行いました。



枝元真徹：農林水産事務次官への要請



太田充：財務事務次官への要請



二階俊博：自民党幹事長への提案

令和3年度農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、県議会議長、自民党県連へ政策提案

長崎県農業農村整備事業推進協議会及び本会、自民党県議団土地改良事業推進議員懇話会（会長：松本洋介県議会議員）は、総勢10名で、12月11日（金）に知事へ令和3年度予算の必要額確保などの要請を行いました。

宮本会長は「農業産出額の増加の原動力は基盤整備。農業を守ることが地域を守ることにつながる」と必要な予算の必要額確保を求めました。上田副知事からは、「農地の基盤整備は生産性の向上や担い手の確保など極めて重要である。予算確保のために皆様方のお力添えを頂きながら、国へ要望していきたい。また、事業効果の早期発現のためには、工事の早期完成が不可欠である。予算確保と併せて、工事の早期執行などを継続していきたい。新規地区の推進については、遊休農地解消や地域の活性化にも有効があるので、皆様の協力をお願いしたいと考えている。土地改良区への支援についても、しっかり取り組んでいきたい」と力強い回答を頂きました。

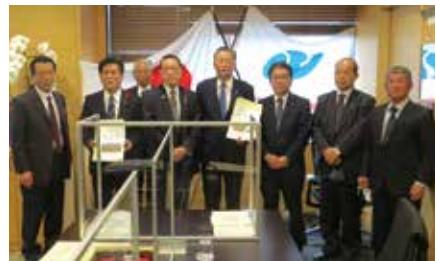
その後、長崎県議会議長、自民党長崎県連へ也要請を行いました。要請内容の説明後、事業実施中の改良区からは「計画工期内完成による、事業効果の早期発現や次世代の後継者確保のためにも、当初予算での必要額確保が重要である」と訴えられ、県の令和3年度農業農村整備事業当初予算の必要額確保について要望を行いました。

【要請内容】

- 一、令和3年度農業農村整備事業予算の必要額の確保
- 一、畠地の基盤整備工事地区の早期完成
- 一、本県の農業農村整備事業新規地区の推進への支援
- 一、土地改良区体制強化事業における土地改良区の組織運営基盤及び事業実施体制強化に向けた支援



上田裕司：長崎県副知事への要請



瀬川光之：県議会議長への要請



山本啓介：総務会長、前田哲也：政調会長（自民党長崎県連）への要請

長崎県農業農村整備事業推進大会

11月7日（土）、諫早文化会館（諫早市）において、長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄 諫早市長）と長崎県土地改良事業団体連合会（会長：古川隆三郎島原市長）は、令和3年度農業農村整備事業当初予算の必要額確保に向けて、長崎県農業農村整備事業推進大会を開催しました。

本大会は平成24年度から毎年開催しており、9回目となる今回は、長崎県知事、県議会議長、九州農政局長、県選出国會議員、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、県議会議員を来賓に迎え、長崎県内各地の土地改良区組合員、県、市町職員など約600名の土地改良関係者が集結しました。大会の開催は新型コロナウイルス感染症対策を講じながらのものとなりました。

主催者挨拶で、宮本協議会会長は「農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、生産基盤の整備が何よりも重要である。県内の基盤整備された農地では、担い手への農地集積による規模拡大、高収益作物や施設園芸の導入、効率的な露地野菜の栽培による産地形成など、基盤整備の効果が確実に現れている。また、地域によっては、後継者が育ち、児童数が増加するなどの効果も現れている。令和3年度も引き続き、国に対して概算要求の満額確保に向けて、要請を行なう」と述べ、理解と支援を求めました。

来賓の、横井績：九州農政局長は「長崎県は、基盤整備の実施によりまして、狭小で不整形な農地が整備され、高収益作物の作付けが拡大し、農業所得の向上等の効果が見えてきている。令和元年度農業農村整備優良地区コンクールの農業振興部門において、島原市の「三会原第1・第2地区」が農村振興局長賞を受賞した。他の模範となる大変素晴らしい事例であり、これもひとえに基盤整備等に地道に取り組んでこられた関係者のご努力の賜物と思う。また、令和3年度の概算要求については、当初予算で前年度より975億円増となる5,408億円を要求し、農業の競争力強化や農村地域の国土強靭化を図るとともに、田園回帰や農村定住を促進することとしているので、皆様方のご支援、ご協力を賜るよう何とぞよろしくお願ひしたい」と挨拶されました。

このほか、長崎県知事、県議会議長、九州農政局長、国會議員の皆さんにもそれぞれ力強いメッセージを頂きました。その後、大内毅：九州農政局農村振興部長により、「農業農村整備事業の推進と予算」と題した基調講演が行われました。

その後、浅野政輝：岡南部土地改良区理事長より、基盤整備に必要な令和3年度農業農村整備事業概算要求の満額確保などを国に求める大会決議が提案され、満場の拍手で採択されました。最後に、滝和久：有喜土地改良区理事長の発声のもと、参加者全員による力強い拍手にて大会は盛会裏に閉会しました。



推進協議会会長挨拶
(宮本明雄：諫早市長)



県知事来賓挨拶
(上田裕司：副知事)



来賓挨拶
(瀬川光之：県議会議長)



来賓挨拶
(横井績：農政局長)



農村振興部長基調講演
(野中振挙：農村振興部設計課長)



ガンバロー三唱
(滝和久：有喜土地改良区理事長)



大会決議
(浅野政輝：岡南部土地改良区理事長)

大 会 決 議

- 一、令和3年度農業農村整備事業概算要求の満額確保
- 一、事業効果の早期発現のために、令和2年度補正予算による必要額の確保
- 一、計画的な農業生産基盤の整備と防災・減災対策を行うために本県の農業農村整備事業当初予算の必要額確保
- 一、農業水利施設の維持管理主体である土地改良区に対する運営基盤強化に向けた十分な予算措置

令和2年11月7日 長崎県農業農村整備事業推進大会

全国水土里ネット表彰授与式

令和元年度全国水土里ネット表彰式が、新型コロナウイルス感染症のため中止となっていましたが、本推進大会の中で受賞者に対して表彰状を授与しました。本県からの受賞者は以下のとおりです。

農業農村整備優良地区コンクール表彰

農村振興局長表彰：三会原第1・第2地区（島原市）

第61回全国土地改良功労者表彰

農村振興局長表彰：三会原土地改良区（島原市）

金章（団体）：古江・田中土地改良区（南島原市）

個人表彰（役員）：木下靖彦（飯盛開土地改良区）



表彰者の皆様（左から）

木下靖彦様（飯盛開土地改良区理事長）
吉岡博幸様（古江・田中土地改良区理事長）
上田和徳様（三会原土地改良区副理事長）

令和3年度 農業農村整備事業関係予算概算決定及び 令和2年度補正予算の概要

去る12月21日、農林水産省は、令和3年度農林水産関連予算概算決定の概要並びに令和2年度補正予算を公表した。

●農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和3年度農業農村整備事業概算決定額は、**4,445億円（対前年度比100.3%）**となった。

また、令和2年度補正予算と合わせると、**6,300億円**となった。

(単位:億円)

| | 令和2年度 当初予算 | 令和3年度 概算決定額(A) | 令和2年度 補正追加額(B) | 合計 (A+B) |
|--|---------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|
| 農業農村整備事業(公共) | 3,264 | 3,333 (102.1%) | 1,855 | 5,188 (158.9%) |
| 農業農村整備関連事業(非公共) 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 | 508 | 518 (102.0%) | — | 518 (102.0%) |
| 農山漁村地域整備交付金(公共) | 661 | 595 (90.0%) | — | 595 (90.0%) |
| 計 | 4,433 | 4,445 (100.3%) | 1,855 | 6,300 (142.1%) |

(注) 1.計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2.令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額である。

3.令和2年度補正予算額はTPP等関連対策及び防災・減災、国土強靭化のための対策が対象。

4.農山漁村振興交付金は情報通信環境整備対策及び最適土地利用対策である。

●主な事業の内訳（公共、非公共）

(単位:億円)

| | 令和2年度 当初予算 | 令和3年度 概算決定額(A) | 令和2年度 補正追加額(B) | 合計 (A+B) |
|----------|---------------|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| 公共 予算 | 国営事業等 | 1,748 | 1,782 (101.9%) | 449 |
| | 農業競争力強化基盤整備 | 716 | 680 (95.0%) | 955 |
| | 中山間地域農業農村整備事業 | 50 | 57 (113.7%) | 10 |
| | 農村地域防災減災 | 441 | 450 (102.1%) | 441 |
| | 農村整備 | — | 63 皆増 | — |
| | 土地改良施設管理 | 177 | 172 (96.8%) | — |
| | その他 | 132 | 129 (98.0%) | — |
| 計 | | 3,264 | 3,333 (102.1%) | 1,855 |
| | | | | 5,188 (158.9%) |

| | 令和2年度 当初予算 | 令和3年度 概算決定額(A) | 令和2年度 補正予算額(B) | 合計 (A+B) |
|-----------------------|------------------|-------------------|---------------------------|-------------|
| 非 公 共 予 算 | 農業農村整備事業 | 507 | 505 (99.6%) | — |
| | 農地耕作条件改善事業 | 249 | 247 (99.2%) | — |
| | 農業水路等長寿命化・防災減災事業 | 258 | 258 (100.0%) | — |
| | 多面的機能支払交付金 | 486 | 486 (100.0%) | — |
| | 中山間地域等直接支払交付金 | 261 | 261 (100.0%) | — |
| 計 | | 2,003 | 2,003 (100.0%) | 261 |

(注) 1.計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2.令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額である。

3.令和2年度補正予算額はTPP等関連対策及び防災・減災、国土強靭化のための対策が対象。

4.その他には後進地域開発特例法適用団体土地改良等関係開発指定事業補助率差額金を含む。

5.国営総合農地防災には土地改良施設突発事故復旧事業(直轄)、農村地域防災減災には土地改良施設突発事故復旧事業(補助)を含む。

6.農村振興局非公共予算総額には、主な事項以外の事業等も含めた総額を指す。

『農業農村整備の集い』開催 —農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—

11月20日（金）、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの主催で「農業農村整備の集い」が開催されました。「集い」には、全国の土地改良区並びに都道府県、市町村、都道府県水土里ネットなど約400人の参加があり、本県からは古川会長はじめ11名が参加しました。

開会に当たり、主催者を代表して全国水土里ネット会長（二階俊博：自民党幹事長）が最初に「相次ぐ災害により、被害を受けた農地・農業用施設の復旧・復興が第1に重要であり、全力で対応していく。土地改良が現状のままで満足してはいけない。さらなる前進、高みを目指していくために、『闘う決意』がなければならない。一致団結して対応していかねばならない」と力強い挨拶をなされました。

「集い」には、衆参国議員の多数の出席を得て、代表して野上農林水産大臣はじめ7名の方々から祝辞がありました。その後、事例発表で水土里ネット女性の会の設立状況等などが紹介され、最後に拍手で「ガンバロウ三唱」に応え、予算確保へ一致団結することを誓いました。



来賓祝辞
(野上浩太郎：農林水産大臣)



来賓祝辞
(進藤金日子：参議院議員)



主催者挨拶（二階俊博会長）



来賓祝辞
(宮崎雅夫：参議院議員)

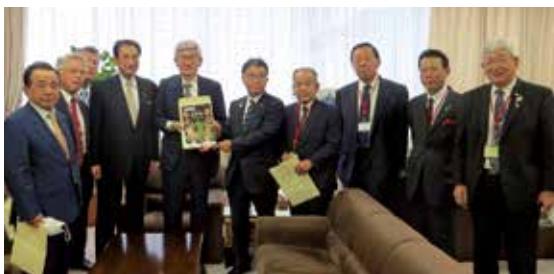
九州農業農村整備事業推進協議会並びに 土地改良事業団体連合会九州協議会合同の要請活動

九州農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（会長：古川隆三郎島原市長）は11月19日から20日に掛けて農林水産省、財務省及び自民党本部へ要請活動を行いました。

同協議会より、26名が参加し、野上浩太郎：農林水産大臣はじめ農林水産省政務三役及び農村振興局長のほか幹部職員、財務省、二階俊博自民党幹事長、森山裕自民党国会对策委員長、野村哲郎前自民党農林部会長、進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員へ令和3年度農業農村整備事業予算の必要額の確保について要望しました。



枝元真徳：農林水産事務次官への要請



牧元幸司：農村振興局長への提案



太田充：財務事務次官への要請

非補助農業基盤整備資金のご案内

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合に係る費用に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

| | |
|---------|---|
| ●貸付限度額● | 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資1件あたりの最低額は50万円です。) ※農業集落排水事業では一部施設ごとに限度額を設定しています。 |
| ●貸付金利● | 非補助一般 0.30%(令和2年11月18日現在) ※金融情勢により貸付金利は変動しますので、直近の金利は(株)日本政策金融公庫にお問い合わせください。 |
| ●償還期限● | 最長25年(据置期間10年以内を含む)となっており、事業内容に応じて設定できます。 |

◆ご相談・お問い合わせ◆

長崎県 農林部(農業経営課 金融班)

TEL : 095-895-2938

(株)日本政策金融公庫 長崎支店(農林水産事業)

TEL : 095-824-6221

長崎県土地改良事業団体連合会(総務部 会員支援課)

TEL : 095-893-5701

土地改良農業用施設賠償責任保険の案内

このプランは、土地改良区が所有または管理している農業用用排水路、道路、ため池等の土地改良施設での偶発的な事故により、通行人や第三者の身体に障害を与えたいたり、財物に損害を与えたことによって被保険者(管理者)の負う法律上の賠償責任を保険金額の範囲内でお支払いする保険です。

○保険期間／1年間

○契約者／長崎県土地改良事業団体連合会

○加入対象者(被保険者)／長崎県土地改良事業団体連合会の会員の皆様に限る

保険料および保険金額(補償額)のご説明

| | | |
|-------------------------|-----------------|---------------------|
| Aタイプ (保険料)2,680円／km* | 対人賠償 1億円／1事故 | 対物賠償 1,000万円／1事故 |
| Bタイプ (保険料)2,530円／km* | 対人賠償 1億円／1事故 | 対物賠償 なし |

*保険料は20会員以上の加入を前提に算出しているため、保険契約締結時の被保険者(加入者)の人数によっては割引率が変更となり、保険料が変更となることがあります。

◆ご相談・お問い合わせ◆

長崎県土地改良事業団体連合会 総務部 会員支援課

〒850-0057 長崎市大黒町9-17

TEL : 095-893-5701 FAX : 095-820-6836

令和2年度 第2回監事会

12月17日（木）、土地改良会館において、岡田伊一郎代表監事（東彼杵町長）、濱崎保久監事、平田光昭監事出席のもと本年度の第2回監事会を開催しました。

議事内容は以下のとおりで、議案は原案どおり可決承認されました。また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。



議題

第一号議案 令和2年度中間監査に関する件について

令和2年度 複式簿記導入促進特別研修

10月30日（金）、web方式において、令和2年度複式簿記導入促進特別研修を実施いたしました。

県内の土地改良区等役職員の77名が参加し、土地改良会館会場参加者は12名で、その他は各改良区や市町村役場から参加されました。

研修会は全国水土里ネット支援部の市村和寿部長と金内琴美主査が講師となり、会計細則等見直し、開始貸借対照表、財務諸表等の作成手順について詳しく説明を受けました。



第43回 全国土地改良大会のご案内

新型コロナウイルス感染症流行の影響において、延期がなされておりました第43回 全国土地改良大会群馬大会が、『鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて』をテーマに2021年10月6日（水）に開催されます。日程等は以下のとおりとなっております。

【会場】群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」（高崎市）

【日程】2021年10月6日（水）～8日（金）

10月6日（水）：大会式典（パネル展・ブース展示）交換会

10月7日（木）～8日（金）：事業視察（日帰りコース・1泊2日コース）

本会の新規採用職員の紹介



名前：江浦 陽子
(えうら ようこ)

所属：総務課

皆さんこんにちは。総務部総務課の江浦陽子と申します。約2年、臨時職員として勤務していましたが、令和2年11月より、正職員として採用されました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

水土里ネット長崎に勤務するまで農業とはほとんどご縁がなく、「土地改良とは?」というところからのスタートでしたので、毎日が勉強になることがあります。今後はさらに知識と経験をつんで、会員の皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症により何かと不便が多いと存じますが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるように心より願っています。

受賞おめでとうございます

令和2年度長崎県民表彰（産業：農林）において、大久保信一様（吾妻土地改良区理事長）、酒井光則様（空池原土地改良区理事長）、2名が県民表彰を受賞されました。

ご両名とも永きに渡り、土地改良事業をはじめとする数々の事業に積極的に取り組まれるなど、本県農林業の発展に貢献されました。また、地域農業の中心的な役割を果たされており、これらの功績が認められ今回の受賞となりました。

大久保様、酒井様の今後更なるご活躍を祈念申し上げます。



大久保信一



酒井光則

（吾妻土地改良区理事長）（空池原土地改良区理事長）

会議と行事

1月

- 4日 仕事始め式
27日 第216回理事会（長崎市：土地改良会館）

2月

- 2日 九州協議会総務担当者会議（Web）
9～10日 九州協議会換地・確測担当者会議（Web）
25日 第65回通常総会（長崎市：セントヒル長崎）

3月

- 15日 九州協議会会长事務責任者会議（長崎市）
25日 全国水土里ネット総会（東京都）
25日 第62回全国土地改良功労者表彰式（東京都）
25日 農業農村整備優良地区コンクール表彰式（東京都）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各種会議・行事予定について日程変更等も考え方られますので、予めご了承ください。

みどり 長崎県土地改良事業団体連合会 「水土里ネット長崎」

| | |
|--------------------------------|--|
| 土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 | TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102 |
| 総務部：総務課 | TEL(095)823-3101・✉ n.soumu.3101@ntr.or.jp |
| 会員支援課 | TEL(095)893-5701・✉ nagasaki.kanri@ntr.or.jp |
| 技術部：技術課 | TEL(095)893-5720・✉ nagasaki.setukei@ntr.or.jp |
| 換地課 | TEL(095)893-5725・✉ nagasaki.kanti@ntr.or.jp |
| 県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 | TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ shisho02@ntr.or.jp |
| 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 | TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ shisho03@ntr.or.jp |
| 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 | TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ shisho05@ntr.or.jp |
| 壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 | TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ shisho06@ntr.or.jp |

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636

✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】

表紙の
写真紹介



畑総の中の鬼火（諫早市飯盛町）

飯盛地域は県下で有数な馬鈴薯の生産団地で畠地の基盤整備により農業生産額の増加、担い手への農地集積が拡大するなど事業効果が顕著に発揮されている。毎年、畠場の一角を利用して鬼火焚きが行われている。【撮影：松尾一郎】